（第三種郵便物認可）（大正三年八月七日）　昭和十三年一月廿四日　THE IWAKIJIHO　（火曜日）　（第七千百廿四號）　（一）

夕刊
磐城時報
廿四日

[illegible]町十四
編輯兼發行
印刷人 岡田弘成
[illegible]町十四
印刷所 加納活版所
[illegible]町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

躍進的數字を示した 平庶民金庫成績

貯金五十四萬圓に達す

昨年度の利益二萬一千圓

信用組合平庶民金庫では二十二日總會を開き十二年度の決算を附議し滿場一致原案通り決定したが同年度の利益金は一萬一千九十圓六十九錢でこの處分は

三四四九圓九八錢　準備金
一五〇〇圓　特別積立金
四四四〇圓七一錢　配當金（年四分）
一〇〇〇圓　役員退職積立金
七〇〇圓　役員賞與金

と決定した、同組合十二年度の業績は既報の如く庶民金融機關として躍進的の成績を示し組合員及び口數増加し、貯金に於ても前年度末は四十一万七千六百六十三錢であつたが昨年末は五十四萬二千二百二圓十六錢となり十余萬圓の増加を示してゐる、貸付金方面に於ても貸付件數、回收件數何れも増加し一般から極めて重寳がられた事實を數字に表してゐる

平市の腸チブス 終熄の兆なし

第二校の訓導隔離

平市を襲つた腸チフスは一時終熄したかの如く見えたが二十三日市内第二小學校訓導渡邊三平（四六）氏が眞症と決定隔離され平のチフス患者は三十一名（内三名死亡）を算し猖紅熱二名が隔離されてゐるが第二校では狼狽し校内の大消毒を行ふと同時に兒童に詳細な注意を授けた

▲磐崎村葬

磐崎村では上海戰線で名譽の戰死を遂げた上湯長谷字力石上等兵寺田善作君、下湯長谷字腰善上等兵江尻英治君の村葬を二十五日午後一時から同村第二小學校で行ふ

▲吉田氏寄附

磐崎村消防組顧問吉田明德氏は去る十九日死去したが遺族から小學校奬勵金に五十圓、消防組二十圓、青年團十圓合計八十圓を寄附した

▲矢内刑事榮轉

平署から四倉署特高刑事に榮轉した矢内刑事は二十四日午前十一時平驛發列車で赴任した

磐城炭礦住吉坑に 百尺の大落磐

三名遂に壓死す

二十三日午後十時十分頃磐城炭礦住吉第二坑内約三百九十尺の處で坑夫十一名が作業中長さ百二十尺巾三十尺厚さ十五尺位の大落磐があり八名は避難し得たが左の三名は壓死した

坑夫茨城縣多賀郡里前村大字野邊生れ内郷村高坂御殿條原龜吉（三四）栃木縣阿曾郡新今村内郷村大字宮澤曳沼彌一（三〇）内郷村高坂字櫻井蛭田清一郎（四〇）

▲四倉信用總會

四倉信用組合の第十七回の通常總會は昨二十三日午後一時より小學校講堂に開催議案全部の決定を見たが十二年の配當額は四分である、尚理事二名、監事三名、評定委員二十四名の選擧を行なつた結果理事二名補欠員長谷川酉次郎、萱波康太郎、監事三名、豊田美孝、佐藤仲、金成岩吉の三氏決定し評定員として佐藤榮嘉外二十三名決定した

志賀大尉の 村葬執行

泉村玉露出身兩角部隊志賀大尉の村葬は二十五日午後一時から同村小學校で執行する

劍道の 階級試驗

武德會平分會主催の劍道講習會は來月三日から三日間縣支部教士小川文章氏を迎へて平署演武場に開き最終日五日午後一時から階級試驗を行ふ

女給さんの 公休日

平西洋料理組合では此程開かれた總會で女給さんの公休日を毎月十八日に決定した、但し當日土曜、日曜或は大祭の時は繰延べる

▲十圓を寄附

四倉町本町木田稚風氏二男朝義君は去る八日入營に際し餞別金を受けた中より金十圓を四倉銃後會に寄附した

間拔けた泥棒 逃げ損ねて捕はる

七十一歳の老賊

二十三日早曉市内揺槌小路造花店西山光夫さん方の裏口から賊侵入現金四十一圓在中の金錢登錄器を盗つ拂つて逃げやうとしてゐる處を光夫さんに發見されその場で捕はれた、この男は宮城縣牡鹿郡鷲の神村生れ前科九犯阿部辰右エ門（七一）といふ老賊で平署で調べた處昨年十一月三年の刑を終えて秋田刑務所を出獄各地をぶらついて舊臘末郡内に入り込み八幡小路某方から現金八圓とジャケツその他を窃取した事を自白した

出征兵が 郷土に寄附

四倉町字志津金成宗重氏は目下南支の戰場に活躍してゐるが去る二十日同區青年團長渡邊四郎氏の元に金五圓の寄附方を申込で來たので渡邊團長以下團員一同は氏の奇特なる行爲を感激してゐる

年末に 出征遺族慰問

四倉町銃後會に於ては舊年末に際し同町よりの出征兵の家族慰問を行なふ

息子の捜索願

内郷村宮字金坂野崎兵吉さん二男國三（二一）君は去る昭和七年三月家出茨城縣鹿島郡[illegible]田町田内自動車部の助手をやめて去る二十日磐城炭礦電車停留所附近をトラックに同乘してゐるのを見かけたので或ひは同村邊の自動車助手をしてゐるのではないかと兵吉さんから二十三日平署に捜索方を願ひ出でた

支那軍捕虜の中に 意外！婦人あり

（其の二）

南京にて　木村守江

先日は何處まで書いたかはつきりせぬが捕虜二萬余の仕末に困つたことを書いたと思ふ、この捕虜の中に女が居たことを書くことを忘れたかも知れない日本人の想像出來ないことに軍隊の中に女が居る何をやつてゐるのか御想像にまかせるが今度の支那兵が相當強くて日本軍に可成多くの死傷者を出さしめたのもこの女軍があるからだなどゝ言ふ人もある、然しこれを全部本當にすることはどうかと思ふが然し女迄も出征してゐるのだから如何に擧國一致介石の所謂救國の非常時に當つたかがうかゞはれる。而かもこの女は十七歳より廿三歳位迄のものであるが堂々正規兵の服裝をしてゐて、一見男女の區別が日本兵にははつきりせぬ、仲には裸にせねば分らぬのがあつたかと言つて笑つてゐるものもあつた、全部斷髮で仲々の美人も居た、捕虜をどうしたかと言ふことは軍司令官の令に由つた丈で此處には書くことが出來ぬから御想像にまかせることにする。

次に十二月廿日は愈々揚子江を渡ることになつた午前六時南京時間の午前五時でまだ眞暗な中を南京城外を出發中島部隊先頭に行軍一里半碼頭には日本軍艦二隻と捕獲した汽船が數隻我軍の渡河を待つてゐた、午前九時頃より乘船五隻の大型船と駄馬を乘せた數隻の發動機船で揚子江を渡つた、一同乘船凱旋を想像して言に言はれぬ感を起した、然し三十分も過ぎたかと思ふ頃津浦鐵道の終點なる浦口に到着下船した、氣持のせいか船を乘りて中支に來たと思ふと寒氣が身にしみる、後方部隊の來る迄と思つて炊火をしたら、この火が擴がつて、見る〳〵中に火事となつた、（續く）

四倉水產校で 幕市開設

四倉水産商業青年學校では去る二十七日（舊二十六日）の幕市に於て例年の如く實習販賣を小學校正門前に於て行なふが鹽引外舊正月用品を安價に販賣する

謹賀新年

敵の首都南京を蹂躙し揚子江を渡り中支那に皇軍の雄姿を眺めつゝ昭和十三年の新春を迎ひ、聖壽の万歳を唱し得るは男子の本懷と存じ候、顧れば昭和十二年迄は東洋平和と躍進日本の基礎を造れるの時なりしが昭和十三年こそ東洋永遠の平和と躍進日本の精華とを收むべきの年と痛感致され候間益々健康に御留意の上國民協力一致內治外交に御專念の程願上候
實は早速一々拜趨新年の御挨拶を申上ぐ可き筈の處戰地にある身故禮仕り候

南京にて
木村守江

謝火事見舞

今曉當鑛業所糧食部出火に際しては早速御馳付け被下御懇切なる御見舞を辱ふし誠に難有奉深謝候
混雜中御尊名伺ひ洩れも可有之不取敢以紙上御厚禮申上候　敬具

日曹小田鑛業所
三谷省吾

一月廿九日ヨリ五日間上映

祝開館

今井映畫特作東寶提供
海江田讓二・高津愛子
A 平手酒造

問題の映畫東寶PCL特作
東日・大毎連載
B 良人の貞操
高田稔・入江たか子

C 東寶PCL作品
エノケンの
どんぐり頓兵衛

土日曜ハ晝・夜

東寶映畫 聚樂館

なつかしき皆様又顔を出す事になりました！何卒御後援の程

幹部
大河內傳次郎
林長二郎
入江たか子
高田稔
岡讓二
黒川彌太郎
佐伯秀男
花井蘭子
千葉早智子
原節子
榎本健一
藤原鎌足
古川ロッパ
其他東寶ブロック一同
今井映畫俳優一同

魚召すなら
ヒノマル凍魚！
新しく
おいしい

鯛	マナ鰹	ワカサギ
エビ	甘鯛	帆立貝
白魚	カナ頭	うに貝焼

日本水産一手特約（電三八・三一六番）
卸小賣 平製氷會社
配達ハ電一本 迅速致します
小賣指定店 ト印魚問屋 四丁目 五二八番

新鮮な冷凍貝焼あります

產科
婦人科
外科
藥局

院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備

平市新川町十九
木村病院
電話一六四番

中野齒科醫院

診療科目
一、齒科一般
保存科
補綴科
繼續架工科
齒列矯正科
小兒齒科
齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科

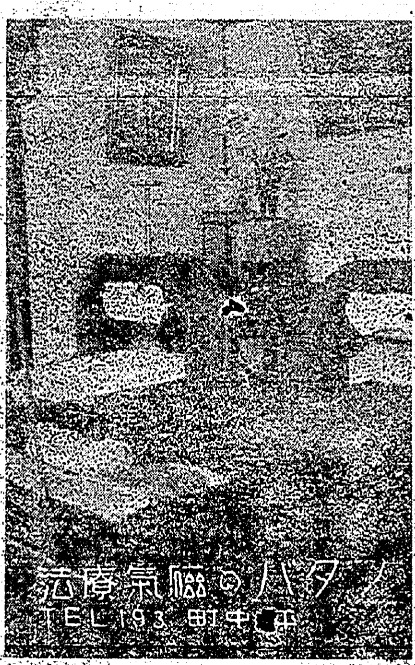
院長 日本齒科醫學士 中野悳次
日本齒科醫學士 西川誠

◇看護婦至急募集

平市田町（松月堂向）
電話五〇九番

平驛前
昭和タクシー
電話 三四三（サシミ）
三四〇番

強力電氣療用
神經痛に特効



外科一般 レントゲン科
內臟外科 泌尿器科

北川外科

平市新川町二七
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
電話四六四番

◎晝夜診療◎
（血液檢査每日）
イツデモ入院出來マス

蓄膿症
根切藥
快鼻湯

本劑は幾多の藥劑ありと雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一日も早く服用され快癒されん事を御奨め致します

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒 鼻汁多加症
頭痛 肥厚性鼻炎に靈効あり。
◎其他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞讃されて居ります

磐城國平市一丁目
快鼻湯製造元 **水野藥局**
責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話六九九番

北海屋のもちあめ

箱入 三十錢ヨリ壹圓マデ
◎淺草のり 十錢ヨリ四十錢マデ 各種アリマス

平市二
北海屋商店
電話三八八

國華ポマード颯爽たり

皆様の美容室「理髮東京」は「オールサービス」の満全を期し國華ポマードを初め全部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝都美容師會々員
東京國華會バーバーチエン
理髮 **東京**

本社內郷支局高橋喜一郎君昭和十 年十月廿四日戰死致候處廿三日午後一時內郷村第二小學校に於て內郷村葬を以て葬儀執行候間御通知申上候

一月二十二日

磐城時報社

開院廣告

平病院

電六四一番

平市警察署側（元共濟病院跡）
院主 院長 醫學博士 **鈴木定藏**

內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
產婦人科 般 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科
レントゲン科 院長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平

◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄 夜間診療ニ從事ス
往診隨時（急患ハ此ノ限リニアラズ）
病室完備 入院隨時【自動車ノ便アリ】
入院料一日 特等貳圓、一等壹圓五拾錢 二等壹圓參拾錢

外科・花柳病專門

入院隨意

平市六丁目
木村外科醫院
電話三〇九番